

学習指導案（教科：美術）

1 授業内容

教科：美術Ⅰ・絵画

単元：身近なものを描く（8時間）

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標

ア 身近にある見慣れたものの面白さを描く制作手順を理解する。

イ リンクふせんや教科書にある作品の面白さや良さを鑑賞しテキストふせんで言語化する。

ウ 構図を工夫しカメラふせんを使って撮影した後、それをもとにものを観察しながら用紙に描く。

エ 次回以降、表現方法を工夫して制作に取り組む。本時は8時間のうち最初の1時間目。

(2) 本時の目標

・興味が湧いた身近なものの形や色の良さや美しさ、面白さをカメラふせんを使って撮影する。

・撮影したものや鑑賞した作品の面白さ、良さを言語化する。

(3) 本時の評価規準

（関心・意欲・態度）身近なものに興味を持って、その特徴、魅力、面白さを積極的に見出そうとしている。

（思考・判断・表現）身近なものの特徴、魅力、面白さを言葉で説明できる。

（知識・理解）生徒が捉えた身近なものの面白さ、良さを表現するための、平面造形における様々な構図を理解している。

（技能）カメラふせんで撮影したものに生徒独自の発見が感じられ、それをテキストふせんに言葉で説明できる。

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なモチーフをよくみて、各自が主題を見つける。 ・主題にふさわしい構図を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>テキストふせんで本時の目標や学習活動の流れを理解する。</u> ・<u>教科書、リンクふせんで作品鑑賞をし、イメージを膨らませる。</u> 	<p>【評価】【思考・判断・表現】</p> <p>鑑賞した作品の面白さを文章化できる。</p>
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・構図を意識して撮影する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>平面造形で構図が大切であることを理解し、カメラふせんを使って身近なものを異なる構図で2点撮影する。</u> ・<u>テキストふせんとファイルふせんを使って撮影したものの面白さ良さを言葉や文章で表し提出機能で提出する。</u> 	<p>【評価】【関心・意欲・態度】</p> <p>身近なものに興味を持って、その特徴、魅力、面白さを積極的に見出そうとしている。</p> <p>【評価】【知識・理解】</p> <p>平面造形における様々な構図を理解している。</p> <p>【評価】【技能】</p> <p>構図を理解してカメラふせんで撮影できる</p> <p>【評価】【思考・判断・表現】</p> <p>身近なもののおもしろさや、良さを言葉や文章で表せる。</p>

<p>まとめ (10分)</p>	<p>・意図した構図、主題 を言葉で伝える。</p>	<p>・本時に鑑賞した作品の面白さ良さをテキストふせんに記す。 ・次回以降の制作する自分の作品の主題をテキストふせんに記し、提出機能で提出する。</p>	<p>評価【思考・判断・表現】 制作する自分の作品の面白さ、良さを言葉や文章にできる。</p>
----------------------	--------------------------------	--	---

(5)ICT 活用計画

ICT を主に活用するのは、導入と展開部分である。

(手順)

- ① テキストふせんを用いて本時の授業の学習活動の流れと活動の注意点を説明する。
- ② リンクふせんで他の作品の鑑賞を行う。
- ③ カメラふせんで撮影し、提出機能で提出させる。
- ④ 本日の課題のテキストふせんを提出機能で提出させる。

(ClassPad.net を活用する効果性について)

- ① カメラふせんを活用し、興味のあるものを生徒が主体的に選び、トリミング、構図を考えることができる。
- ② リンクふせんに動画教材を準備しておくことで、簡単に授業に動画教材を取り入れることができる。